

お月さまと ぞう

小川未明

青空文庫

「しょうちゃん、よし子さんが、ごもんのところへ たらいを だして、水みずを 入れると、まんまるな 月のつき かがおが うつつて、にこにこ わらいました。」

「さあ、わたしを よく みて ください。」

と、月つきが いいました。

「大きな おおつき お月さまね。」

と、よし子こさんが よろこびました。

「あの くろいのが うさぎかしらん。」

と、正しょうちゃんが あたまを かしげました。

「ほんとうの うさぎ？」

と、よし子こさんが ききました。

「ああ、ぼうえんきようが あると、よく わかるのだよ。」

正しょうちゃんは あおむいて、お月つきさまを ながめました。

「わたし、くびが いたく なるから、おたらいのを みましようよ。」

この とき、あちらが がやがやしました。

「ごらん、ぞうが きた。」

と、正ちゃんしょうちゃんが びつくりしました。

大きな ぞうが、おうらいを あるいて きました。サーカスが、どこかへ いくので す。

ちかちか ひかる、青いあお きものを きた おねえさんと、くろい ズボンを はいた 男おとこが、むちを もって、ついて きます。

「こわいわ。」

と、よし子よしこさんは おうちへ はいろうと しました。

「ぞうは おりこうだから こわく ないよ。」

と、正ちゃんしょうちゃんは とめました。

ごもんの まえに くと、ぞうは こちらを むいて、ながい はなで たらいの 水みづを すうと のみほしました。

「あら、お月さまつきを のんで しまったわ。」

と、よし子よしこさんが いいました。

「おいたを しては いけません。」

と、
ぞうは
おねえさんの
むちで、
ピシりと
たたかれました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 16」講談社

1978（昭和53）年2月10日第1刷発行

1982（昭和57）年9月10日第5刷発行

初出：「コドモノヒカリ」

1937（昭和12）年10月

※表題は底本では、「お月《つき》さまと ぞう」となっています。

※初出時の表題は「オ月サマト象」です。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：Juki

2012年7月16日作成

2012年9月27日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られ

ました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

お月さまと ぞう

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>